

No.5 図面の読み方Ⅱ

(製図、幾何公差・機械要素等)

図面の深読みで加工法と検査法などが分れば、良い製品ができる。

1. 最近、目にすることが多い幾何公差とは何か？

- 1) 寸法公差などとの違いは？
- 2) 何故、最近、幾何公差が重要視されるのか？
- 3) 幾何公差には、どのようなものがあるのか？
- 4) その他、幾何公差の入れ方などについて、お教え致します。

2. 図記号のうち、特に分りづらいと言われる溶接記号とは？

- 1) どの溶接記号が、どの溶接部分に対応するのか？
- 2) 溶接記号は、溶接部分の構造のほか、多くの情報を含んでいます。どのような情報が含まれているのか？
- 3) その他に、主な溶接法のことなど、溶接構造物の図面を見る上で知っておいたほうがよいことについて、お教え致します。

3. その他、図面と関連して、製品を造る上で必要な情報は？

- 1) 主な機械部品(歯車、軸受など)の表わし方
- 2) その他、図面と関連して、製品を造る上で知っておいたほうが良いことについて、お教え致します。

4. 理解度テスト、アンケート

講師プロフィール



富樫 義雄 (とがし よしお) 技術士(機械部門)

富樫技術士事務所代表／労働安全コンサルタント／QC検定2級。
北海道大学工学部機械工学科修士卒。

企業では建設機械用油圧機器の開発設計に従事。

2010年技術士事務所開設。専門分野は力学、材料力学、流体力学、油圧技術、安全工学、機械設計。



高橋 昌一 (たかはし しょういち) 技術士(機械部門)

高橋技術士事務所代表 九州大学大学院機械工学研究科修了

船用減速装置、建設機械用トランスミッション、蒸気タービン、船用ガスタービン、潜水艦用などディーゼル機関、潜水艦用スターリングエンジンの開発、設計などに従事。